

TEL:075-841-1403 FAX:075-812-0457

この『JYONAN通信』は皆さまと弊社とのご縁を大切にしていきたい 今後ともなんらかのお付き合いを続けていただけたらと思いつけていただきました
お時間があるときにでもお読みいただければ光栄です かゆいところに手が届く建築屋でありたい…(株)城南組 寄本 猛です



換気

5

家の中でカビが生えるのは、水回りだけではなく、
どんな箇所でも、油断していると
あっという間にカビの住み処となってしまうんです。
前回に引続き「カビと換気」にまつわる
さまざまな疑問を書かせていただきます。



「家の中で繁殖したカビの影響は？」

カビの胞子はアレル物質!花粉やダニなどと同様にカビの胞子もアレル物質となる可能性があります。カビが繁殖するような環境は改善することが必須。

「季節を問わず油断は禁物 室内のカビが生える条件」

カビの種類にもよりますが
室温25~30℃、湿度60~80%ほど。
カビの胞子は目に見えないので気づきにくいですが
屋内外を問わず存在しており、
条件が揃うとすぐに増えてしまいます。



「カビが成長しやすい 家には特徴がある？」

熱や冷気を逃しにくい高気密性住宅は
言わば密閉容器のようなもの。
湿気がこもって風通しが悪いことも
カビが好む環境となりがちです。
また、結露が発生しやすい部屋や
加湿器を必要以上に利用している部屋、観葉植物や
水槽がある部屋などはカビが生えやすいです。



「カビ予防に欠かせない 湿度コントロール」

カビのリスクを抑えるには、湿度60%以下を心がけて
ください。湿度計を置いておくといいでしょう。
押し入れなどには専用の乾燥剤などもありますが
風を当てて乾燥させる方が効果を期待できます。



「室内のカビを防ぐ方法は？」

家のカビを予防する第一歩は「換気」
室内の空気中に浮遊している胞子のほか、
ハウスダストも屋外へ排出することができます。
24時間換気システムは常に運転させた上で、1日に
1~2回は窓を開けての自然換気を行いましょう。



「掃除をきちんと行うことも カビの予防に効果的」

空中に浮遊しているカビの胞子は
いずれ床へと落ちてきます。
たまったままの状態を避けるためにも
掃除はサボらないようにしましょう。
カーテンなど布製品の洗濯、布団干しといったことも
まめに出来ると◎。
エアコンや空気清浄機などのフィルターも
ホリがたまりやすいので定期的に手入れしましょう。



「もし、生えてしまった時は？」

ベストな方法は、雑巾などに消毒用エタノールを
染み込ませて拭き取ること。
カビを拭き取った雑巾などはそのまま処分を。
水洗いするとカビの胞子が周囲に
飛んでしまうので、ご注意ください。



「カビを除去したのに ニオイや色が残っているときは…」

カビが除去しきれていない場合、ニオイが残る事も。
実は思いもよらない箇所にカビが生えている可能性
もあります。
また、防虫剤を入れていると、ニオイ自体にも
気付かなくなるのでチェックしてみてください。



「空気にまつわる家電も効果的」

屋内外を問わず存在するカビの胞子は
当然ながら部屋の空気中にも浮遊しています。
微細な物質もキャッチできる高性能なフィルターを
搭載している空気清浄機などを使って
空気をキレイに保つこともとても大切です。



思い出の現場

入社3年目の秋に初めて工事責任者で任された京北町立農業担い手センター（鉄骨造2階建）
北桑田郡京北町で通称周山街道沿いの下中（現在の京都市右京区京北下中町）



竣工写真
昭和五十五年



現在の建物

担当を予定されていた先輩の退職により、私に回ってきた工事でした。
当時、先輩達のように早く現場を任せたい!と思っていたので、願ったり叶ったりでしたが
入札による公共工事で安値受注。工事責任者となると予算も任せられます。

早々に工事着手に向け準備、まずは着工書類に工程表と実行予算書の作成
入札額から会社に残す予定金額を上司と決め、残りの総金額に合わせ各協力業者へ振り分けたのですが厳しそう。
着手前に主な業種は契約するのですが、当時二十歳の若輩者、永年この業界で職している協力業者年長社長に
こちらの希望金額でお願いするも、中々応じてもらえない!
現場が遠いので入札に参加された地元建築会社に、業者紹介、下請けとして協力を求めましたが
どの会社にも、その現場は協力出来ない!と断られました。(思わぬ京都市内の会社が割り込んで来た!と思われていた)
水道工事のみ地元業者で、気のいい人だったので唯一癒されました。

工期の短縮を考え、基礎業者に無理を言って迷惑をかけたか、10月後半に着手し、鉄骨を建てるまでは良かったが
冬に入り、地域的に雪が降る日が多く、午後3時以降から降る雪は、見る見るうちに積もるのでみんな飛んで帰り
翌日は積雪で、現場に着けるのが10時頃...雪の日は来てくれない業者がほとんどでした。
現場に車を入れるための、雪かき作業だけでももうお昼。晴れた日は屋根の雪が溶け、外壁の仕事が出来ない。
壁に塗ったモルタルが、翌日真っ白に凍てついて中々乾かないこともありました。
設計監理は伏見区の、設計事務所の高齢所長で、週に1回、バスで現場に来られるが
その日は一日所長の対応で終わり。帰りは送って帰ることもたびたび。(正直あまり嬉しい事ではなかった)
雑仕事を頼める人が地元にはいない、予算も無く自分でやらないといけないのであつという間に一日が終わる。
唯一落ち着いて、主に提出図面や書類作成と予算管理、雑用の仕事出来るのは、業者の来ない日曜日だけでした。
全ての工事に遅れがはじまり、気持ちも焦っていました。

この現場までは先輩の助手が多く、各業者との値段の交渉をすることはなく、気楽だったのかと思いました。
初めて予算を預かっての工事は予算が厳しく、各社との値交渉に時間がかかり
また、その頃は何かと余裕がなかった、初工事責任者現場でした。
ただ、近隣の皆さんからは何のクレームもなく、子を見守るように笑顔で対応いただき
竣工式では工期が少し遅れたにもかかわらず、役場の担当者に

“雪の中ようやってくれはった”とお礼を言われたことが幸いでした。
45年後の今は弓削自治会館として使われている、忘れられないデビュー現場です。

最後まで読んでいただきありがとうございます。不定期ではありますがこの『JYONAN通信』で
弊社の取り組み・出来事・イベントなどのお知らせの発行が出来ればと思っております。

※この通信紙及びチラシの送付でご迷惑をおかけしてしましたら恐れ入りますがご連絡いただければ送付を取りやめさせていただきます。

～安心・安全・健康で快適な住まいづくりのお手伝い～

〒604-8803 京都市中京区蛸薬師通大宮西入上ル因幡町97

おかげさまで創業110周年

株式会社 城南組

TEL:075-841-1403 FAX:075-812-0457

ホームページ: <http://www.jonangumi.co.jp>

Eメール: info@jonangumi.co.jp

